協調會懸賞の
一等に當選した
産業振興の歌

産業福利部が募集した産業振興の歌は、嚴選の結果一、二、三等共決定を見たが、一等當選の左記歌詞は、日本ビクター株式會社に委託しレコードに吹込み、更に本會囑託赤間雅彦氏が民謠體操に振付を爲す筈である。

（一）國民歌謠

一等當選（賞金五拾圓）

當選者
滿洲國新京永昌湖同第一代用官舍一三二號 重國秀雄君

一、空は青空 みどりの風に
明ける日本の アリヤ朝ぼらけ
打てよ その鍬 希望の土に
拓け、富源を 豐にひろく

二、響く汽笛に 凱歌をあげて
今日も張り切る アリヤ意氣と意氣
振へ、ハンマー力のかぎり
守れ 職場を 生命にかけて

三、踊る黒潮 黄金に揺れて
波に文化の アリヤ花が咲く
載せよ 積荷の 日毎に夜毎
揚げよ 日の丸 萬里の海に

四、興す日本の 産業線に
組んだ男の アリヤ肩と肩
和せよ 勞資の 一つに融けて
謳へ 君が代 御稜威の旗に

（作曲中山晉平 歌手四家文子）

第三十八回社會政策學院講師及科目
（第八頁參照）

現代社會思想批判並に社會政策概論 河合榮治郎氏
現代に於ける經濟の變遷と社會問題 土方成美氏
勞働問題 鹽澤昌貞氏
最近に於ける政治の動向 蠟山政道氏
社會政策と財政 井藤半彌氏
勞働立法 孫田秀春氏
海外社會運動の動向 鮎澤巖氏
我國社會運動
勞働組合、無産政黨運動 中川賢一氏
國家主義運動 坂井隆治氏
農民運動 山本巖氏
協同組合運動 村山重忠氏
勞働者保護政策 鈴木宗正氏
産業福利 蒲生俊文氏
勞働管理 長谷孝之氏
勞働者教育 大内經雄氏
社會保險 古瀬安俊氏
失業問題 安積得也氏
農村問題 小野武夫氏
金融問題 服部文四郎氏
中小工業問題 長岡保太郎氏
社會事業 矢吹慶輝氏
産業平和 町田辰次郎氏
特別講座
社會思想批判 小泉信三氏
我國人口問題 上田貞次郎氏
勞資協力の實際 松岡駒吉氏

興民學院春期講座

協調會大阪支所經營にかゝる興民學院春期講座は去る五月十日より開講せられたが、聽講生定員を超過し、百三十名に上つた。

講師及科目（イロハ順）
我國勞働組合運動 井上正雄
宗教と社會 羽溪了諦
勞働者教育の目的 大塚一朗
現代社會思想の動向 河田嗣郎
國家と國防 河村豐
人口問題 孝橋正一
産業と勞働 吉田茂
民族發展の法則 高田保馬
事業と人 田中良雄
日本の對滿政策 武内文彬
興民の理法 勞働問題 瀧島武雄
科學と社會生活 鍇市太郎
産業平和 町田辰次郎
農村問題 松村勝治郎
今日の財政問題 阿部賢一
國民榮養問題 佐伯矩
世界經濟の展望 下山元一
世界と日本 下村宏
社會事業の現狀 志賀志那人
我國貿易の現狀 關桂三
近代法の根本精神とその變化 末川博

協調會消息

役員異動（四月及五月）
評議員 宮尾舜治
右昭和十二年四月三日死亡
蒲生俊文
右昭和十二年四月三十日評議員常議員理事ヲ囑託
評議員常議員 阿部房次郎
右昭和十二年五月十二日死亡
理事長 潮貞一
右昭和十二年五月廿一日解任
評議員常議員理事 田子一民
右昭和十二年五月廿六日任期滿了ノ處即日重任
戸田保忠
右昭和十二年五月廿九日評議員常議員理事ヲ囑託
調査部長 長岡保太郎
産業福利部長 蒲生俊文
右昭和十二年四月三十日常務理事ニ選任

素心會ハイキング便り

素心會は協調會全職員の修養懇親の機關、去る五月二十三日は大いに浩然の氣を養ふため初夏の一日を湘南神武寺—鷹取山ハイキングと出掛けた。當日は薄陽もるゝ絶好のハイク日和、一行八名、廣瀬氏の可愛い嬢ちゃんも混つて品川に集つたのが午前九時。電車の窓から見る風景も常になく心樂しく、神武寺驛で下車したのが十時半。畔道の草は香り、小川の岸邊にはタンポヽが光り、山にかゝると老樹鬱蒼、心身自ら淨まり、千二百餘年の歴史にさびた古刹神武寺に參詣。流石に湘南妙義の名に背かず奇岩怪石滴るばかりの翠緑の間に屹立し俯瞰すれば千仭の幽谷脚下に在り、岩頭に立てば遙かに三浦半島の起伏を一望に收め、浩然幽邃の氣は自ら湧く。晝食後更に親不知、前淺間、後淺間を廻り、追濱に下つたのが二時過ぎ。遊園地で新鮮の苺ミルクに舌鼓を打ち更に金澤八景に出て九覧亭で手取り早く八景を一望し當日のコースを終つた。（高岡賞記）

芝公園展望室

○協調の題字は徳川公爵の書であります。
○御覧の通り編輯技術が拙いので貴重な原稿もダイなしになつて申譯ありません。紙面の都合で第二號に廻したものもありますのでお含み下さい。
○讀者層は最初産業人から出發して漸次社會大衆に呼びかけたく思ひます。社會問題勞働問題を極めて平易に取扱つて、毎月の重要なる時事問題に就ての資料を提供する考です。
○購讀希望者は一ヶ年六十錢前金にて協調會宛御申込下さい。百人以上の團體申込は實費にて提供します。
○短かい時評、隨筆、和歌等御遠慮なく御投稿下さい。特に地方の便りをお待ちします。
○東京はやつと落つきました。これから國際正義と社會正義が實現されることゝ思ひます。（たまるしま）

新刊 野村岩夫著 慣行小作權に關する研究 菊判三六〇頁 定價一圓五十錢 送料二十一錢
東京商科大學學長 上田貞次郎編 新刊 日本人口問題研究 第三輯 菊判六七七頁 定價三圓 送料二十一錢
日本人口問題研究（第一輯）（第二輯） 菊判四〇〇頁 菊判五三〇頁 定價一圓五十錢 定價二圓五十錢 送料二十一錢 送料二十一錢
ナチス勞働法 菊判三三五頁 定價一圓二十錢 送料二十一錢
昭和十一年版勞働年鑑 菊判六六〇頁 定價二圓五十錢 送料二十一錢
徒弟制度と技術教育 菊判三九〇頁 定價一圓五十錢 送料二十一錢
社會政策時報 第二百號記念特輯（五月號） 我國社會政策の検討 定價一圓 送料四錢五厘
東京・芝公園・六號地 振替東京五三七〇四番 協調會

協調

本部 東京市芝區芝公園六號地
支所 大阪市北區中ノ島朝日ビル内
出張所 名古屋市愛知縣廳内
同 福岡市福岡縣廳内

協調會概覽（昭和十二年六月）

一、設立の由來

歐洲大戰の影響を受けて我國の産業は未曾有の進展を來たし、國民生活の各方面に種々なる變化を及ぼしたのである。更に大戰に伴ふ世界的過激思想の襲來に依つて、深刻なる社會不安が起り、社會各階級の間に動もすれば調和を缺き、國運の進展、社會福祉の増進は爲に阻害されざるを得ない狀態にあつたのである。

茲に於て政府は資本勞働兩者の協同調和を圖る爲め適切なる機關を設くることの緊切なるを認め、時の内務大臣床次竹二郎氏の熱心なる慫慂と、時の貴族院議長徳川公爵、樞密院副議長清浦子爵、衆議院議長大岡育造氏並びに實業界の長老澁澤子爵及和田豐治氏等の率先奮起と相俟つて、實施方法の考究に漸々步を進むるに至つた。而して大正八年八月二日財團法人協調會設立の趣意書及綱領を公にしてより、數十回の準備委員會を經て終に同年十二月二十二日政府の認可を得て協調會が成立するに至つたのである。

二、目的及事業

協調會の目的は寄附行爲第二條に述べてゐる如く「社會政策に關する諸般の調査研究を爲し、並に其の實行を期し進んで事業主と勞務者との協同調和を圖ること」に存するのである。即協調會の目的は社會問題の解決に必要なる施設、事項に關する諸般の調査研究及實行を期するに在りて、就中社會問題の核心をなす勞働問題の解決に主力を盡すことを眼目としてゐるのである。

寄附行爲に掲げられてゐる本會の事業は左の如くである。

會長 公爵 徳川家達

一、公私ノ機關ト連絡ヲ保チ社會政策ニ關スル調査研究ヲ爲シ其結果ヲ公表スルモノトス
二、社會政策ニ關シ諮問ニ應シ又ハ政府其ノ他公私機關ニ對シ意見ヲ提出スルコト
三、社會政策ニ關スル學校、講習會、講演會、圖書館等ヲ開設スルコト
四、勞務者教育及福利増進ニ關シ適當ナル施設ヲ講スルコト
五、勞働紛議ノ仲裁和解ニ盡力スルコト
六、前各號ノ外評議員會ノ議決ヲ經タル事業

三、資金及財政

本會の資金は政府の補助金及有志の寄附金によつたものであつて、寄附金申込總額は六百八拾餘萬圓、内既に受入れたるもの五百五拾萬餘圓で、其他は未收入に屬する。政府よりは大正九年貳百萬圓を補助せられ結局七百五拾萬餘圓の資金を擁して居つたが、會館及學校の建設等に使用したる外、元本より毎年經常費に幾分づゝ繰入れつゝあつた處、漸次減少するに至つたので、大正十四年三月以後は主として利子に依つて經常費を支辨することに財政方針を變更し、基金制度を設定した。現在基金は四百萬圓で外に特別積立金九拾萬圓を有し、經常費に不足額を生じた場合はこの積立金から補給することになつてゐる。又昭和十一年四月産業福利部を特別會計としてより、同部經費は産業福利部會員の會費を以て充當することゝなつた。昭和十二年度協調會豫算は貳拾四萬四千圓で外に産業福利部豫算は拾參萬八千圓、合計參拾八萬貳千圓である。尚東京工業專修學校は年額六萬八千圓の豫算で自給自足の狀態を續けてゐる。

副會長 水野錬太郎

副會長 大橋新太郎

四、機關の組織

本會の機關の組織は代表機關（會長）、執行機關（理事）、議決機關（常議員評議員）監督機關（監事）とに分たれてゐる。昭和十二年五月末現在會長一名副會長二名、理事二十七名、常議員九十四名、評議員一四三名、監事二名である。

五、事務の分掌

本會は從來總務、勞働、農村、調査、教務の五課を置き夫々事務を分掌して來たのであるが、漸次事業の擴大發展するに伴ひ、簡捷的有機的機能を發揮する必要上昨昭和十一年三月七日、之を改廢して、總務部、調査部、産業福利部の三部制となした。各部の事務分掌及事業は左の如くである。

常務理事 町田辰次郎

常務理事 長岡保太郎

常務理事 蒲生俊文

總務部

一、各部の連絡に關する事項
一、人事、文書、諸會議に關する事項
一、會長、常務理事の印及會印の管守に關する事項
一、豫算決算及財産其の他會計に關する事項
一、寄附に關する事項
一、圖書館に關する事項
一、會館に關する事項
一、學校に關する事項
一、宣傳情報に關する事項
一、企畫に關する事項
一、他部の分掌に屬せざる事項

調査部

一、社會立法、社會政策並に勞資關係調整に關する調査
一、勞働運動其他社會運動に關する調査
一、思想問題に關する調査
一、産業、勞働及び農村問題に關する調査
一、海外に於ける社會問題に關する調査
一、社會政策時報、調査報告編輯に關する事項等

申すまでもなく本會の調査は正確な素材資料を整備し、協調精神を根基として關係官廳と協力の下に、社會政策の徹底に寄與することを使命とするのである。

産業福利部

一、勤勞精神の作興に關する事項
一、勞働者の教育に關する事項
一、勞働條件の向上、勞務管理の整備に關する事項
一、勞働者の安全衞生其の他福利施設助長に關する事項
一、勞働法制、社會保險に關する知識の普及に關する事項
一、産業協力助長促進に關する事項
一、産業福利博物館に關する事項
一、内外に於ける産業福利に關する調査
一、勞務管理並に勞働事情に關する調査

尚産業福利部は本會の新規事業に屬するため、別項に詳報す。

大阪支所 大阪府及其の近縣に於ける本會の事務を分擔す
名古屋出張所 愛知縣下に於ける本會の事務を分擔す
福岡出張所 福岡縣下に於ける本會の事務を分擔す

六、主要施設

施設の主なるものは左の如くである。

一、東京工業專修學校 本校は蔵前の東京高等工業學校附屬工業學校を協調會